

電子提供制度適用後の株主総会資料に関する 当社の当面の方針について

会社法の改正に伴い、令和4年9月1日に株主総会資料（法定の株主総会参考書類等をいいます。）の電子提供制度が導入されました。

電子提供制度とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主様に対して株主総会資料を提供することができる制度です。

電子提供制度は、上場会社に対して強制適用されることから、当社では、令和5年3月以降に開催される株主総会から電子提供制度が適用されます。

同制度によれば、株主様にお届けする書面は、簡易な招集通知（株主総会資料をウェブサイトに掲載したことおよびウェブサイトのアドレス等を記載したお知らせ）のみで足りることとなり、株主総会資料を書面で受領したい株主様は、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。

ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、当面は「書面交付請求」の有無にかかわらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を書面でお届けする方針です。なお、このような当面の対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付を行う際には、事前に株主様へお知らせいたします。

電子提供制度
に関する
お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

0120-696-505

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

（受付時間）
土・日・祝日等を除く
平日9:00～17:00

近鉄グループホールディングス株式会社

〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55

TEL. 06-6775-3445

企業情報サイト <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

Kintetsu Report

第112期 中間 事業活動のご報告

令和4年4月1日から令和4年9月30日まで



近鉄グループホールディングス株式会社

証券コード：9041



アフターコロナ社会を見据え、国際事業に進出、 BtoB事業を強化し、グループのさらなる飛躍につなげてまいります。



代表取締役会長
グループCEO **小林 哲也**



代表取締役社長 **小倉 敏秀**

» ごあいさつ

平素は、当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このほど、第112期事業年度における第2四半期まで（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）の業績がまとまりましたので、各事業における最近の取組みなどと合わせて、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におきましては、国内の需要が徐々に回復し、運輸業をはじめとして各事業で

増収となりました。また、持分法適用関連会社であった近鉄エクスプレス（KWE）に対する株式公開買付けを行い、8月に同社を完全子会社としましたため、当社の連結業績に同社の業績が反映され、増収・増益となりました。ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学リスクの増大やエネルギー価格の上昇など、予断を許さない状況が続きますが、経営基盤の強化と収益の確保に努めてまいります。

» 今後の事業展開

近鉄エクスプレスの完全子会社化により、当社グループには既存の「運輸」、「不動産」、「流通」、「ホテル・レジャー」の4セグメントに「国際物流」という新たなセグメントが加わりました。今後は、BtoCが主たる事業である既存の当社グループに、近鉄エクスプレスの国際物流という新たな成長ドライバーを加え、収益力の強化と同時に事業リスクを分散し、当社グループ全体の経営基盤の安定化を図ります。事業ポートフォリオが大きく変わるこの機会を逃さず、グローバル展開も見据えた新たなグループガバナンスを構築し、人材の育成や企業風土の変革を具現化してまいります。

運輸業においては、国土交通大臣から認可を受け、来年4月から鉄軌道旅客運賃の改定を予定しております。将来にわたり公共交通として安全の確保、サービスの向上などの使命を果たしていけるよう努めてまいります。

不動産業においては、沿線主要駅周辺での計画的な再開発により、地域特性や規模に適応したスマートシティやコンパクトシティなど、生活・社会インフラの効率的な提供を目指したまちづくりを推進します。また、志摩地域においてゴルフ場を転用した「アウト

ドア体験型複合施設」の建設に着手する予定です。

百貨店業においては、「くらしを豊かにするプラットフォーム」を長期ビジョンとした経営計画のもと、あべの・天王寺エリアの魅力最大化などの諸施策を進めてまいります。

ホテル業においては、新型コロナウイルス感染症の影響がなお大きいものの、行動制限の解除や入国制限の緩和により今後の需要が拡大すると予想されます。特に令和7年の大阪・関西万博を大きなチャンスとし、大阪に来られたお客様を京都や伊勢志摩エリアに誘致すべく、当社グループの強みを活かしてまいります。

旅行業においては、旅行需要拡大の機会を的確に捉え、テーマ旅行をはじめとする旅行商品の強化、ダイナミックパッケージなどWeb販売の拡大を進める一方、地域創生に協力してまいります。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響により、多額の損失を計上いたしました。ようやくコロナ禍前の業績水準まで回復を見通せる状況となりました。株主の皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年12月

— 近鉄グループのさらなる飛躍へ —

近鉄エクスプレスが完全子会社となりました

近鉄グループホールディングスは、本年5月から、持分法適用関連会社であった近鉄エクスプレスに対し株式公開買付けを実施し、8月に同社を完全子会社としました。

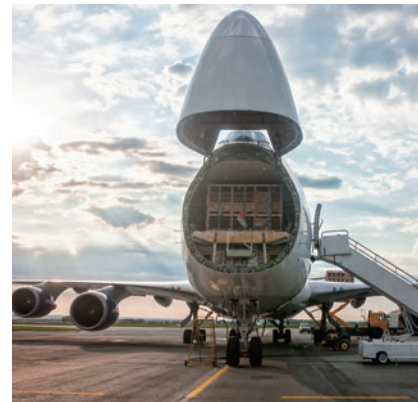
近鉄エクスプレスのグローバルネットワーク
(2022年3月末現在)



近鉄エクスプレス (KWE) は、さまざまな輸送手段（航空機・船舶等）を組み合わせ、お客様ごとの要望に応えるロジスティクス・サービスをワンストップで提供する国際物流企業です。「Global Top 10 Solution Partner — 日本発祥のグローバルブランドへ —」を目指し、成長を続けています。



近鉄エクスプレスの主な事業



航空貨物輸送

航空機を使った輸送方法のことで、主に緊急を要する貨物の輸送に用いられます。また、温度管理や防振管理、衝撃防止などケアが必要になる貨物の輸送にも用いられます。フォワーダーとして、複数のお客様の貨物を混載して、海外の仕向地ごとに輸送するサービスを提供しています。



海上貨物輸送

船舶を使った輸送方法のことで、航空機に搭載できない大型貨物や大量の荷物を輸送できるといった特長があります。発地国、着地国では輸配送業務に留まらず、通関業務や必要書類の手配など、ドア・ツー・ドアで物流サービスを提供しています。



ロジスティクス・サービス

効率的な物流戦略の企画立案や物流システムの構築を行っています。輸配送だけでなく倉庫内における在庫管理や流通加工（仕分け、梱包、検品など）も含めた、お客様のサプライチェーン全体をカバーするトータルなソリューションを提供しています。

欧州から日本へ コロナワクチンを輸送

近鉄エクスプレスは、コロナワクチンの欧州から日本への国際輸送業務を担いました。今後も、医薬品・医療機器輸送の豊富な経験と実績をもとに、エッセンシャルビジネスを担う物流企業として、引き続きグローバル社会に貢献してまいります。

TOPICS 01 鉄軌道旅客運賃の改定申請が認可されました

近畿日本鉄道は、安全・安心・快適な輸送サービスを継続して提供するため、4月15日に鉄軌道旅客運賃の改定申請を行い、9月2日、国土交通大臣より認可されました。2023年4月1日に運賃改定を実施します。これからも車両・設備の更新、バリアフリー整備、防災対策、駅的美装化などを継続的にを行い、安全性・利便性を確保してまいります。将来にわたり公共交通としての使命を果たしていく所存です。



▲難波トンネル耐震補強工事



▲新型一般車両（外観イメージ）



▲駅的美装化



▲可動式ホーム柵

設備投資の主な内容（2023年度～2025年度）

■ 継続して強化する施策

設備の健全性維持	240億円	バリアフリー整備加速化	60億円
安全・防災対策	120億円	DX推進・遠隔化による業務効率向上	40億円
駅的美装化・既存車両の改修	110億円	沿線の活性化等	20億円

■ 新たに取り組む施策

一般車両の更新、車内防犯対策	180億円
次世代の営業機器導入	60億円
将来へ向けた技術開発	30億円

TOPICS 02 第8回 近鉄エリアキャンペーン「MEET SMILE! 伊勢志摩」を実施

近畿日本鉄道では、9月から2023年3月まで、近鉄エリアキャンペーン*を実施し、「MEET SMILE! 伊勢志摩」と題して伊勢市、鳥羽市、志摩市といった沿線自治体などと連携し、伊勢志摩エリアの魅力を発信しています。近鉄では、オープニングイベントやフォトコンテストなど伊勢志摩エリアを盛り上げるイベントを開催。豊かな自然や食が楽しめる伊勢志摩で笑顔になっていただきたいという思いを込めて「笑顔」をテーマに、地域一体となって伊勢志摩エリアのPRを展開しています。

※近鉄エリアキャンペーンとは、沿線の自治体と連携し、特定地域を集中的にPRすることにより活性化を図る観光プロモーションキャンペーンです。

近鉄エリアキャンペーン
MEET
SMILE
伊勢志摩



▲伊勢神宮（内宮）正宮

TOPICS 03 伊勢神宮など近鉄沿線の初詣・初旅にお得なきっぷを発売

近畿日本鉄道では、11月15日（火）から12月31日（土）までの間、3年ぶりに沿線の初詣・初旅に便利でお得な「初詣きっぷ」を発売します。伊勢神宮への初詣には「伊勢神宮初詣割引きっぷ」がおすすめです。往復乗車券・特急券、松阪駅～賢島駅間のフリー区間乗車券およびフリー区間用特急券引換券（2枚）に、観光施設の割引特典がセットになったお得なきっぷです。伊勢神宮ご参拝後、鳥羽・志摩の観光もお楽しみいただけます。このほか、「檀原神宮初詣割引きっぷ」、「新春おでかけ 京阪奈1dayパス」を発売します。これらの便利でお得な初詣きっぷで、伊勢神宮をはじめ、近鉄沿線の初詣・初旅におでかけください。



▲「伊勢神宮初詣割引きっぷ」のイメージ

TOPICS 04 近畿運輸局から貨客混載輸送について表彰を受けました

近 畿日本鉄道と福山通運が協力して行っている名阪特急「アーバンライナー」の空きスペースを利用した貨客混載輸送について、「令和4年度 近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受けました。大阪～名古屋間のトラック輸送から、名阪特急「アーバンライナー」による貨客混載輸送に転換することで、CO₂の排出量の削減に貢献したことなどが評価されたものです。今後も新たな鉄道の活用について引き続き検討していくとともに、省エネルギー、省資源等への取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



▲9月に行われた表彰式の様子

取り組みの効果

2021年7月～2022年4月の10か月間で、貨客混載列車を196回運行
 → 鉄道への転換によるCO₂排出量削減は、18.7トンに相当。
 (杉の木1,328本が1年間に吸収するCO₂量に相当)

「さくらライナー」で「近鉄ふぁーむ 花吉野」の新鮮な野菜をお届け

近鉄不動産が運営する「近鉄ふぁーむ 花吉野」で生産した新鮮な野菜を、大阪阿部野橋駅～吉野駅間を結ぶ「さくらライナー」で輸送し、近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店内の「ハルチカマルシェ」で収穫当日に販売するという実証実験を7月から行っています。これは名阪特急「アーバンライナー」を活用した貨客混載輸送の第2弾に向けた実証実験でもあります。同時に、近畿日本鉄道と近鉄不動産、近鉄百貨店の近鉄グループ3社が連携した取り組みでもあり、新鮮な野菜を環境に配慮した輸送方法でお客様にお届けするとともに、グループの連携を強化してまいります。



▲「さくらライナー」からの荷下ろしの様子

TOPICS 05 伊勢志摩にゴルフ場を転用した「アウトドア体験型複合施設」を計画

近 鉄不動産と近鉄ゴルフアンドリゾートは、「近鉄浜島カンツリークラブ」を、日本有数の「アウトドア体験型複合施設」へ転用する計画を発表しました。オープンは2024年を予定しています。新施設には、「グランピング施設」と、「体験型アトラクション」を整備。「グランピング施設」は、「満天の星空の下、芝の上で過ごす極上グランピング」をコンセプトに、非日常空間での宿泊をご提供します。「体験型アトラクション」では、木々や芝の上を一気に滑空する「ジップライン」など大自然の中でスリルと爽快感を楽しめるアトラクションの設置を検討しています。



▲「アウトドア体験型複合施設」のイメージ

TOPICS 06 2023年春、大和西大寺駅前に新規商業施設をオープン

近 鉄不動産は、2023年春、大和西大寺駅の南口駅前広場前に新規商業施設をオープンします。「人と街と緑が交わる商業施設」を基本コンセプトに、駅前でありながら、約1,500㎡の敷地の中央に芝生広場を設け、さまざまなイベントなどを開催する多目的空間とします。また、広場を囲うように建物を配置し、木造とすることで温もりや心地よさを感じていただける設計となっています。自然を感じ、皆様から愛され続ける「人と緑と賑わいのあふれる新たなランドマーク」を目指してまいります。



▲新規商業施設の完成イメージ

TOPICS 07 橿原神宮前駅に、地元の酒蔵直営店「酒屋みよきく」がオープン

近 鉄リテーリングでは、橿原神宮前駅の中央改札口横に奈良県橿原市の老舗酒蔵・喜多酒造を誘致し、日本酒スタンディングバー「酒屋みよきく 橿原神宮前駅店」を7月にオープンしました。同店では、喜多酒造の代表銘柄「御代菊」をはじめ、日本酒と奈良の特産品を気軽に楽しみいただけます。駅営業所跡地等の空きスペースを店舗に再活用する取り組みを行う近鉄リテーリングでは、今後も、地域の特色と魅力を備えたお店を誘致することで駅の魅力向上を図ってまいります。



▲気軽なスタンディングバー形式



▲「酒屋みよきく 橿原神宮前駅店」の外観

TOPICS 08 あべのハルカス近鉄本店 ファッション改革第2弾、2売場が同時オープン

あ べのハルカス近鉄本店では、3月よりあべのハルカス開業以来初となるファッションフロアの改革を実施しています。9月には改革の第2弾として、新売場「いろどりマルシェ」をウイング館5階に、「ファーレ アナザークローゼット」をタワー館4階に、同時オープンしました。アパレルだけでなく雑貨やフードを含めた「スクランブルMD」の売場とし、アイテムやブランドの枠を超えたライフスタイルの価値を提案してまいります。



▲「ファーレ アナザークローゼット」



▲「いろどりマルシェ」

TOPICS 09 都ホテルズ&リゾーツの会員プログラム「都プラス」を全面リニューアル

都 ホテルズ&リゾーツは、国内23ホテルおよび米国2ホテルで利用できる会員プログラム「都プラス」を6月、全面リニューアルしました。新たに「ステータス制」を導入し、お客様一人ひとりに寄り添ったサービスを提供する「ロイヤリティプログラム」をスタート。ポイントプログラムをより便利に一新し、宿泊予約やクーポン配信機能などを備えたスマートフォンアプリの提供も開始しました。従来の会員様もスムーズに新プログラムやアプリに移行いただけます。



▲「都プラス」のアプリ画面

TOPICS 10 花園近鉄ライナーズ DIVISION1での躍動にご期待ください

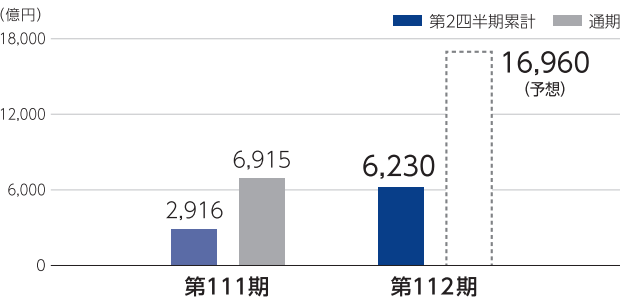
花 園近鉄ライナーズは、2022年1月に開幕した「ジャパンラグビーリーグワン」において、2部リーグにあたるDIVISION2で優勝し、2017年シーズン以来5季ぶりとなる最上位リーグDIVISION1へ、悲願の昇格を果たしました。花園近鉄ライナーズは、これからも、聖地・花園から多くの皆様に感動をお届けしてまいります。ぜひスタジアムにお越しいただき、熱いご声援をよろしくお願いいたします。

〈試合日程〉	日程	対戦相手	会場
第1節	12月18日(日)	NECグリーンロケッツ東葛	柏の葉公園総合競技場
第2節	12月24日(土)	コベルコ神戸スティーラーズ	神戸総合運動公園 ユニバー記念競技場
第3節	1月 8日(日)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	東大阪市花園ラグビー場
第4節	1月14日(土)	横浜キャノンイーグルス	東大阪市花園ラグビー場
第5節	1月22日(日)	東京サントリーサンゴリアス	東大阪市花園ラグビー場



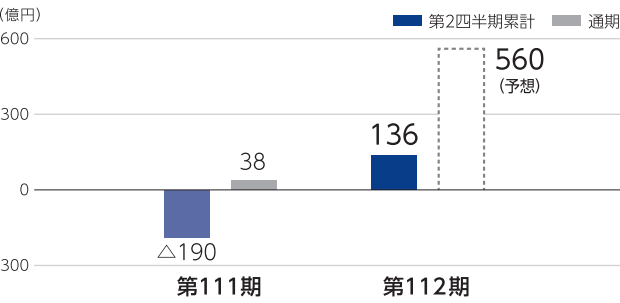
営業収益

前年同期の緊急事態宣言発出に伴う外出の自粛や店舗休業等の反動増に加えて、持分法適用関連会社であった近鉄エキスを株式公開買付けにより連結子会社としたことで増収となりました。



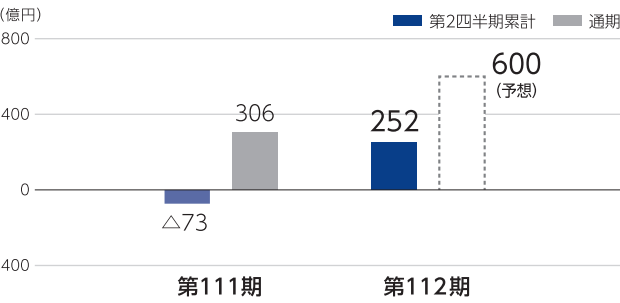
営業損益

各事業で損益が改善したことに加えて、近鉄エキスを連結子会社としたことで利益計上となりました。



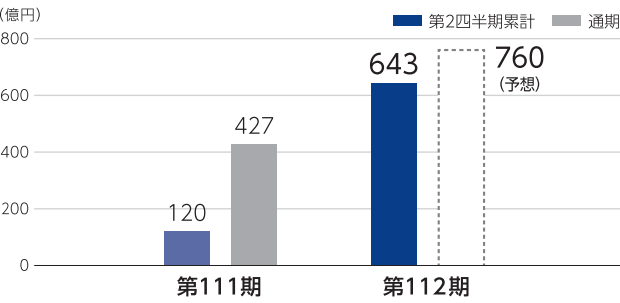
経常損益

営業損益が改善したため利益計上となりました。



純利益

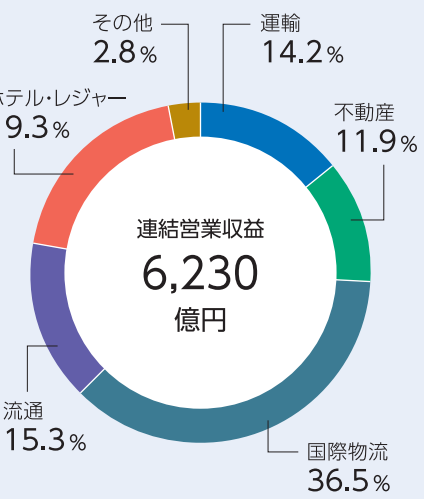
経常損益が改善したほか、近鉄エキスの連結子会社化に伴い段階取得に係る差益を計上したため、増益となりました。



※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

事業別の概況

〈セグメント別構成比〉



運輸 51社
(うち、連結子会社 23社)

前年同期の二度にわたる緊急事態宣言発出に伴う出控えの反動増で、鉄軌道部門をはじめ各部門で増収、利益計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	第2四半期累計	通期
第111期	725	909
第112期	725	909

営業利益 33

不動産 14社
(うち、連結子会社 5社)

不動産賃貸部門で前期に実施した一部のオフィスビル等やホテル資産の売却等により賃貸収入が減少したものの、不動産販売部門でマンション分譲戸数が増加したため、増収増益となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	第2四半期累計	通期
第111期	625	762
第112期	625	762

営業利益 73

国際物流 139社
(うち、連結子会社 130社)

従来、持分法適用関連会社であった近鉄エキスを株式公開買付けにより連結子会社としたことに伴い、国際物流セグメントを新設しました。

〈営業収益・営業損益〉

期	第2四半期累計	通期
第111期	2,339	2,339
第112期	2,339	2,339

営業利益 20

流通 13社
(うち、連結子会社 10社)

百貨店部門で前年同期の緊急事態宣言下における休業の反動増に加え、外出機会が増加し消費マインドの改善がみられたほか、駅ナカ店舗やレストランでも利用客が増加したため増収となりましたが、依然として厳しい状況が続く損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	第2四半期累計	通期
第111期	918	978
第112期	918	978

営業利益 19

ホテル・レジャー 34社
(うち、連結子会社 27社)

ホテル部門で前年同期に比し行動制限が緩和され宿泊やレストラン等の需要が増加したほか、旅行部門においても、引き続き旅行業以外の業務受託に注力したこと等により増収となりましたが、依然として厳しい状況が続く損失計上となりました。

〈営業収益・営業損益〉

期	第2四半期累計	通期
第111期	695	1,240
第112期	695	1,240

営業利益 4

※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。 ※各事業の会社数には

非連結子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連会社を含んでおりません。 ※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(令和4年9月30日現在)

設	立	昭和19年6月	(前身の奈良軌道株式会社は明治43年9月)
資	本	金	126,476百万円

役員

(令和4年9月30日現在)

代表取締役会長	グループCEO	小 林	哲 也
代表取締役社長		小 倉	敏 秀
取 締 役	専務執行役員	白 川	正 彰
	専務執行役員	若 井	敬
取 締 役	常務執行役員	原	史 郎
	常務執行役員	林	信
	常務執行役員	松 本	昭 彦
	常務執行役員	泉 川	邦 充
取 締 役	(社外取締役)	岡 本	囃 衛
	(社外取締役)	柳	正 憲
	(社外取締役)	片 山	登 志 子
	(社外取締役)	長 岡	孝
監 査 役 (常勤)		田 淵	裕 久
		埴 田	均
監 査 役	(社外監査役)	前 田	雅 弘
	(社外監査役)	鈴 木	一 水
	(社外監査役)	井 上	美 智 子

株式の状況

(令和4年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数	500,000,000 株
2. 発行済株式の総数	190,662,061 株
3. 株主数	209,135 名

株式事務のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基 準 日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
株主名簿管理人／ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料) ※「郵送物の発送と返戻」、「支払期間経過後の配当金」および「特別口座」につきましては、上記連絡先にお問い合わせください。 特別口座に関する書類等につきましては、下記の方法でもご請求いただけます。 ● インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

毎年3月31日、9月30日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて次のとおり優待を行っております。

乗車券、乗車証

下表の基準により発行いたします。

ご所有株式数	近畿日本鉄道線 沿線招待乗車券	株主優待 乗車券	株主優待乗車証
	近鉄電車全線 (葛城山ロープウェイを除く。) に1枚1人片道適用		持参人は誰でも利用でき、近鉄電車全線(葛城山ロープウェイを除く。)および近鉄バス全線(一部路線を除く。)に通用
100株以上 1,000株未満	4枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	4枚	4枚	—
2,000株以上 3,000株未満	4枚	8枚	—
3,000株以上 4,000株未満	4枚	12枚	—
4,000株以上 5,100株未満	4枚	16枚	—
5,100株以上 15,000株未満	4枚	—	1枚
15,000株以上 30,000株未満	4枚	—	2枚
30,000株以上 50,000株未満	4枚	—	3枚
50,000株以上 100,000株未満	4枚	—	4枚
100,000株以上 1,000,000株未満	4枚	—	5枚
1,000,000株以上	4枚	—	10枚

※特急列車をご利用の場合は、別に特急券をお買い求めください。

株主様ご優待券

100株以上ご所有の株主様に対し、近鉄グループ施設などのご優待券を一律1冊交付いたします。

発送時期と有効期間

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	発送時期	有効期間	発送時期	有効期間
近畿日本鉄道線沿線招待乗車券 株 主 様 ご 優 待 券	6月下旬	到着後 12月31日まで	12月上旬	到着後 7月31日まで
株 主 優 待 乗 車 券	5月20日頃	到着後 11月30日まで	11月20日頃	到着後 5月31日まで
株 主 優 待 乗 車 証	5月20日頃	6月1日から 11月30日まで	11月20日頃	12月1日から 5月31日まで

※株主様ご優待券の有効期間は、ご優待によって上記と異なる場合がございます。

特別口座に当社株式をご所有の株主様へ

平成21年1月に実施された株券電子化に伴い、それまでに証券会社等に預託されなかった株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。**「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約があります**ので、次のお手続きをお勧めいたします。

①証券会社等の口座への振替

「特別口座」にご所有の株式を証券会社等に開設された口座に振り替えるお手続きです。なお、証券会社等に口座をお持ちでない場合は、あらかじめ証券会社等に口座を開設していただく必要があります。

②単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式を、市場価格にて当社に売却(買取請求)するお手続きです。

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

■単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元(100株)となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却(株主様にとっては買増し)いたします。



■単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。



〈お問い合わせ先〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777(通話料無料)
※特別口座に当社株式をご所有の株主様のマイナンバーのお届けにつきましても、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。
※証券会社等の口座に単元未満株式をご所有の株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。